

シスコ コラボレーション ソリューション: Microsoft v2 との相互運用性: Cisco Unified Communications Integration for Microsoft Lync 2013

最終更新日: 2017 年 12 月 8 日

このデモンストレーションについて

このデモンストレーションでは、シスコのコラボレーション ソリューションで使用できる機能によって、全社的に生産性を向上させ、コミュニケーションを改善する方法を示します。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに](#)
- [シナリオ: Cisco Unified Communications Integration for Microsoft Lync 2013](#)

要件

次の表に、本デモンストレーションに必要な要件の概要を示します。

表 1. 要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> • Cisco AnyConnect がインストールされているラップトップ 	<ul style="list-style-type: none"> • 2 台目のラップトップ • ルータ (Cisco dCloud 用に登録および設定済み) • Cisco Unified IP Phone 88XX または 89XX • Cisco DX70 または DX80 デバイス • Cisco SX10 または SX20 ルーム システム

このシスコ ソリューションについて

Cisco Unified Communications アーキテクチャは、Microsoft 環境内において、Microsoft Lync および Skype for Business クライアントと共存できます。CUCILync は、組織が IM とプレゼンス機能の利用を目的として Skype for Business または Lync をデスクトップで実行している際に、Cisco UC の音声およびビデオ サービスを利用できるようにするためのソリューションです。豊富なコラボレーション機能をすべて利用できることが分かれば、お客様はこのソリューションを安心して導入でき、従業員はサービスや機能を中断させることなく希望のソリューションを使用できます。

まだ Cisco UC デバイスに移行していないユーザの場合は、Microsoft Lync および Skype for Business 向けの **Cisco Unified Communications Integration** クライアントを利用して、Cisco UC の高度な機能のすべてを引き続き利用することができます。Cisco Unified Communications Integration クライアントでは、ボイスメール、ビデオ会議統合、および画面共有をすべて利用できます。これにより、Microsoft ユーザは、この新しいテクノロジーへまだ移行していない場合でも、Cisco Unified Communications 環境のメリットを活用できるようになります。

Cisco Unified Communication Integration の詳細については、製品ソリューションの[ページ](#)にアクセスしてください。

トポロジ

このデモンストレーションには、いくつかのエンタープライズ サーバ VM が含まれます。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連するスクリプトの手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 1. トポロジ概要

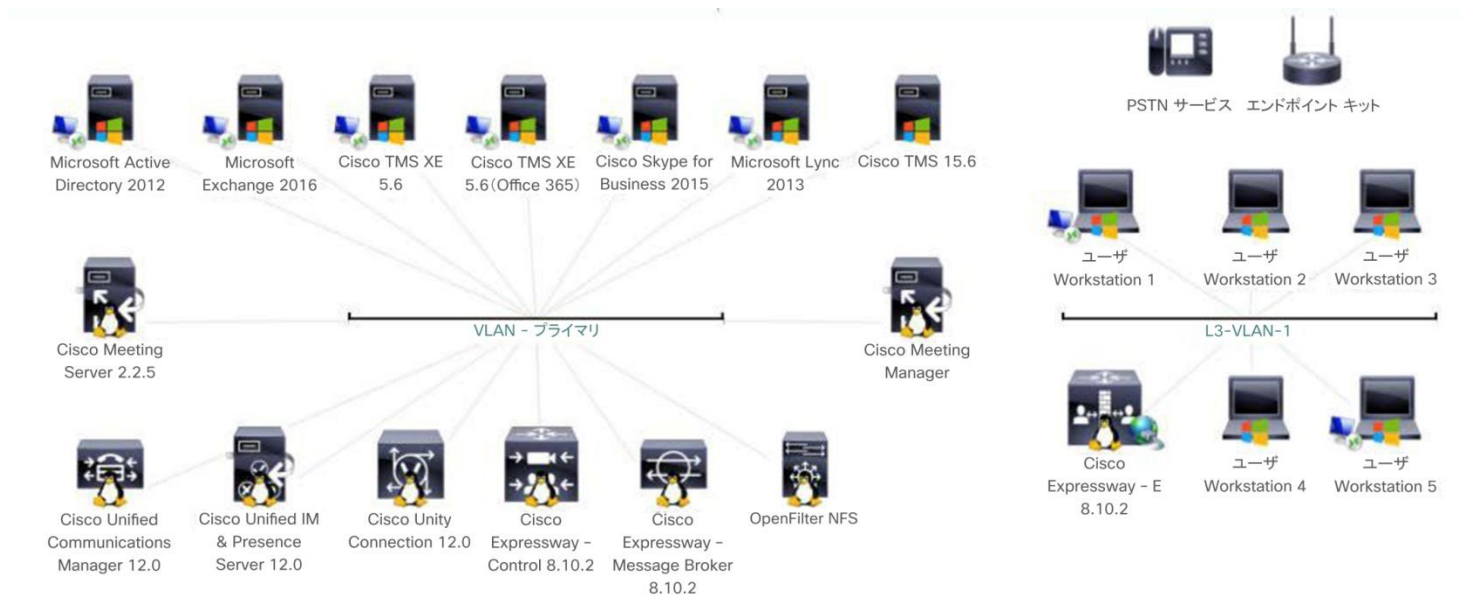


表 2. サーバ情報

アプリケーション	バージョン	URL	ユーザ名	パスワード
Microsoft Active Directory サーバ	2012	198.18.133.1	Administrator	C1sco12345
Microsoft Exchange Server	2016	198.18.133.2	Administrator	C1sco12345
Cisco Unified Communications Manager	12.0.1.10000-10	https://cucm1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco Unified IM/Presence サーバ	12.0.1.10000-12	https://cup1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco Unity Connection サーバ	12.0.1.10000-8	https://cuc1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco TelePresence Management Suite	15.6	https://tms1.dcloud.cisco.com	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite Extension for MS	5.6	198.18.135.36	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite Extension for O365	5.6	198.18.135.87	administrator	C1sco12345
Cisco Expressway Server – C	X8.10.2	https://vcsc.dcloud.cisco.com	admin	dCloud123!
Cisco Expressway Server – E	X8.10.2	https://vcse.dcloud.cisco.com	admin	dCloud123!
Cisco Expressway Server – Message Broker	X8.10.2	https://vcs-mb.dcloud.cisco.com	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Server	2.2.7	https://198.18.134.175:445	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Manager	1.0.0.44	https://cmm.dcloud.cisco.com	administrator	C1sco12345
OpenFiler NFS	ESA 2.99.1	198.18.135.39	openfiler	dCloud123!
Microsoft Lync 2013	2013	198.18.133.161	dcloud\administrator	C1sco12345
Microsoft Skype for Business 2015	2015	198.18.134.244	dcloud\administrator	C1sco12345
Workstation 1	Windows 10 Pro N	198.18.1.36	DCLOUD\amckenzie	dCloud12345!
Workstation 2	Windows 10 Pro N	198.18.1.37	DCLOUD\aperez	dCloud12345!
Workstation 3	Windows 10 Pro N	198.18.1.38	DCLOUD\mcheng	dCloud12345!
Workstation 4	Windows 10 Pro N	198.18.1.39	DCLOUD\whitman	dCloud12345!
Workstation 5	Windows 10 Pro N	198.18.1.40	DCLOUD\cholland	dCloud12345!

セッション ユーザ

このコンテンツには、スクリプト形式のシナリオと、ソリューションの機能を実例で示すために事前設定されたユーザとコンポーネントが含まれています。コンポーネントのほとんどは、管理ユーザ アカウントを使用して任意の設定が可能です。コンポーネントへのアクセスに使用する IP アドレスとユーザ アカウント クレデンシャルは、アクティブ セッションの [トポロジ(Topology)] メニューのコンポーネント アイコンをクリックするか、それらを必要とするシナリオ内の手順を調べることで確認できます。

表 3. 事前設定済みのユーザ情報

ユーザ名	ユーザ ID	パスワード	ロール	エンドポイント デバイス	URI
Adam McKenzie	amckenzie	dCloud12345!	セールス エンジニア	任意の Cisco EX、DX、または SX デバイス 任意の Cisco 88XX または 89XX シリーズ IP Phone Workstation 1 (Cisco Jabber for Windows を使用)	amckenzie@dcloud.cisco.com
Anita Perez	aperez	dCloud12345!	プロジェクト マネージャ	Workstation 2 (Microsoft Lync 2013 および Cisco UC Integration クライアントを使用)	aperez@dcloud.cisco.com

注:表 3 に記載されているデバイスは、事前設定済みのシナリオに基づく推奨デバイスです。Cisco Unified Communications Manager には**セルフプロビジョニング**機能が搭載されているため、利用可能であれば、任意のデバイスを任意のユーザに割り当てることができます。

はじめに

デモンストレーションの前に

Cisco dCloud では、実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、アクティブなセッションを使用して、このドキュメントのタスクを実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとコンテンツの構成に慣れることができます。

場合によっては、環境を元の構成にリセットするため、このガイドに従った後に新しいセッションをスケジュールする必要があります。

お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。

次の手順に従ってデモンストレーションのスケジュールを組み、デモンストレーション環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#) [英語]

注: セッションがアクティブになるまで最長で 45 分かかります。

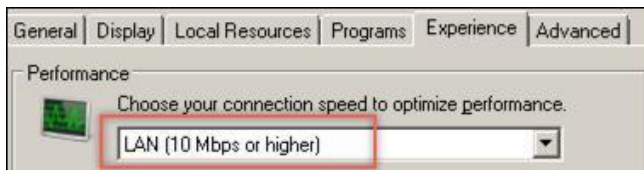
2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **オプション:** ルータとラップトップを接続します。[\[手順を見る\]](#)
4. ルータ経由で接続する場合は、次の手順に進んでください。スタンドアロンのラップトップからセッションに接続する場合は、ラップトップに **Cisco AnyConnect** をインストールし、Cisco dCloud UI で AnyConnect のクレデンシャルを使ってアクセスします。
[\[手順を見る\]](#)
5. **Cisco AnyConnect VPN** [\[手順を見る\]](#) およびラップトップ上のローカル RDP クライアント[\[手順を見る\]](#) を使用してワークステーションに接続します。複数のラップトップ PC を使用する場合は、1 台ずつ各ワークステーションに接続します。以下の設定を使用して RDP を設定します。
 - [スタート (Start)] > [すべてのプログラム (All Programs)] > [アクセサリ (Accessories)] > [リモートデスクトップ接続 (Remote Desktop)] の順にクリックします。
 - [オプション (Options)] をクリックします。
 - [ローカルリソース (Local Resources)] タブを選択します。
 - [リモートオーディオ (Remote audio)] の [設定 (Settings)] をクリックします。
 - [リモートコンピュータで再生 (Play on remote computer)] を選択します。

図 2. 音声再生



- [OK] をクリックします。
- [エクスペリエンス (Experience)] タブをクリックします。
- 接続速度のメニューで [LAN (10Mbps以上) (LAN (10Mbps or higher))] を選択します。

図 3. LAN の接続速度



- [全般 (General)] タブをクリックし、接続先のホストに基づいて [コンピュータ (Computer)] フィールドと [ユーザ名 (Username)] フィールドに次の表の値を入力し、[接続 (Connect)] をクリックします。
 - **Workstation 1** - IP アドレス: **198.18.1.36**、ユーザ名: **dcloud\amckenzie**、パスワード: **dCloud12345!**
 - ログインするデスクトップ上の Cisco Jabber アイコンと Microsoft Outlook アイコンをダブルクリックします。
 - **Workstation 2** - IP アドレス: **198.18.1.37**、ユーザ名: **dcloud\aperez**、パスワード: **dCloud12345!**
 - ログインするデスクトップ上の Microsoft Lync アイコンと Outlook アイコンをダブルクリックします。
6. **オプション:** デモンストレーション用ワークステーション クライアントではなく、**WebRTC クライアントを Cisco Meeting Server** に表示する場合は、Chrome Web ブラウザを開いて <https://join.dcloud.cisco.com> に移動し、amckenzie@dcloud.cisco.com にパスワード: **dCloud12345!** を使用してログインしてください。Cisco Meeting Server および WebRTC の詳細については、Cisco dCloud [製品データシート](#)をご覧ください。必要に応じて、ご使用のスマートフォンで **IOS または Android 向けの Cisco Meeting Server アプリ**を使用することもできます。
7. **オプション:** このデモンストレーションの Collaboration Edge 機能を利用する場合は、それらの機能が適切にプロビジョニングされていることを確認してください。
- Workstation 1 から Firefox を開き、[コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。

- [設定 (Configuration)] > [ゾーン (Zones)] > [ゾーン (Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアント ゾーン (B2B および MRA) の設定詳細情報で SIP ステータスが [アクティブ (Active)] と表示されていることを確認します。DefaultZone で SIP ステータスは [オン (ON)] と表示されます。

注:これらのゾーンの SIP ステータスが [アクティブ (Active)] でない場合は、デモンストレーション セッションの障害が発生し、先へ進むことができません。現在のセッションを終了し、新しいセッションを開始してください。これは、自動化エラーが原因で起こることがあります。

図 4. ゾーン ステータス

Name	Type	Calls	Bandwidth used	H323 status	SIP status	Search rule status	Actions
DefaultZone	Default zone	0	0 kbps	On	On		View/Edit
CTEop-cuom1.dcloud.cisco.com	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 1	View
CLICM Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 2	View/Edit
VCS-e for B2B video Traversal client	Traversal client	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 2	View/Edit
VCS-E for MRA	Unified Communications traversal	0	0 kbps	Off	Active	No search rules configured	View/Edit

8. **オプション: MRA (モバイルおよびリモート アクセス) エンドポイント**をプロビジョニングします。このデモンストレーション デバイスは、ホーム オフィスなど、他のリモートの作業場所から会議通話に接続しています。この役割は **Tanya Adams** に割り当てられています。Tanya は表 1 に記載されたすべてのデバイスを使用できます。[[手順を見る](#)]
9. **オプション (推奨): Collaboration Edge 機能**を使用していない場合は、このデモンストレーションで **Cisco Unified Communications Manager** の**セルフプロビジョニング**機能を使用して、XYZ Corporate LAN 上の電話機をプロビジョニングしてください [[手順を見る](#)]。電話のプロビジョニングには、表 3 の内線番号を使用します。
 - Adam McKenzie は、内線 6016 で、表 1 にある任意のシスコ デバイスを使用できます。
10. **オプション: B2B (ビジネス ツー ビジネス) エンドポイント**のドメインを有効にします。このデバイスは、別の会社のオフィスより、社内ネットワークを使用して会議コールに接続しています。このエンドポイント デバイスは dCloud Cisco Unified CM に登録されていないため、インターネットを介して SIP コールを受発信できる場合に限り、使用可能な任意のエンドポイント デバイスを使用できます。[[手順を見る](#)]。このデモンストレーションでは、サードパーティのドメインとして、cisco.com ドメインを使用します。

11. **オプション:TMS でルーム システムを見つけます。**シスコでは、お客様向けプレゼンテーションのために、各地に物理的な会議室を確保しています。次に示すいずれかの場所でプレゼンテーションを行うかのようにこのデモンストレーションを実行する場合、エンドポイントを会議室自体に割り当て、会議室の電話と同様に扱うことができます。これは、セッションに使用する物理的な会議室の仮想インスタンスです。デバイスを Cisco dCloud ルータに接続し、次の表に記載したセルフプロビジョニング ID を使用して、上記のセルフプロビジョニング手順に従います。[\[手順を見る\]](#) [英語]

表 4. 事前設定された会議室の電話

データセンター	会議室の場所	デバイス名/ユーザ名	電話番号	セルフプロビジョニング ID
Americas	New York - George Washington Bridge	USANYC	+19725556051	6051
Americas	RTP - Little House on Prairie	USARTP	+19725556052	6052
Americas	SJC - Johnnie Walker	USASJC	+19725556053	6053
Americas	Toronto - NIPISSING	CANTOR	+19725556054	6054
Americas	Vancouver - Hornby	CANVAN	+19725556055	6055
EMEAR	London - Piccadilly	UKLON	+19725556056	6056
EMEAR	Berlin - Brandenburger	GERBER	+19725556057	6057
EMEAR	Dublin - Galway	IREDUB	+19725556058	6058
EMEAR	Stockholm - Berzelius	SWESKM	+19725556059	6059
EMEAR	Madrid - Mulhacen	SPAMAD	+19725556060	6060
APJC	Singapore - Outram Park	SINORP	+19725556061	6061
APJC	Beijing - Great Wall	CHIBJG	+19725556062	6062
APJC	Shanghai - Gui Zhi Xiang	CHISHG	+19725556063	6063
APJC	Tokyo Rhode Island	JAPTOK	+19725556064	6064
APJC	RTP - Little House on Prairie	USANYC	+19725556051	6065

セッションの保存

このデモンストレーションのカスタム バージョンを保存するには、次の手順に従う必要があります。カスタム バージョンを保存するには、次の手順に従います。デモのセットアップの一環としてこれを実施しないでください。これを実施するのは、セッションを終了したときのみです。

パブリックにルーティング可能な IP アドレスはデモ セッションごとにダイナミックに割り当てられるため、デモを保存し新しいインスタンスを起動すると、以前取得したものと異なるドメインおよび IP が割り当てられると想定されます。そのため、デモンストレーションを保存するたびに、下記の手順を繰り返す必要があります。この手順は、Collaboration Edge 関連の設定をリセットし、デモンストレーションを正しく保存できるよう準備するために実行する必要があります。

重要: 下記の手順に従わなかった場合は、保存されたデモンストレーションが破損し、Collaboration Edge 機能が動作しなくなります。このようなシナリオでは、保存されたデモンストレーションを修復できず、変更やカスタマイズがすべて失われます。

注: Workstation 2 を変更した場合、その変更がデモンストレーション ガイドに記載されている内容以外の場合は、保存プロセスが失敗する可能性があります。このような原因で破損したセッションは回復不能です。

1. ラップトップ上のローカル RDP クライアントを使用して、デモンストレーション用の **Workstation 2** (198.18.1.37) にアクセスします。[\[手順を見る\]](#)。ユーザ名: **dcloud\laperez**、パスワード: **dCloud12345!** でログインします。
2. CMD コンソール ウィンドウを開き、**ResetCerts** と入力します。
3. Collab Edge 証明書のリセットには 15 ~ 20 分かかります。プロセスが終了するまで何も行わないでください。特に、スクリプトが完了するまでは、Workstation 2 の操作はしないでください。
4. AD スクリプトのリセット: AD1 サーバ(**198.18.133.1**)に RDP 接続します。ユーザ名: **DCLLOUD\administrator**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
5. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、**C:\dcloud** に移動します。
6. ファイル **resetUPN.ps1** を右クリックし、[PowerShellで実行(Run with PowerShell)] をクリックします。
7. Mail スクリプトのリセット: Exchange サーバ(**198.18.133.2**)に RDP 接続します。ユーザ名: **DCLLOUD\administrator**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
8. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、**C:\dcloud** に移動します。
9. ファイル **reset_exchange.ps1** を右クリックし、[PowerShellで実行(Run with PowerShell)] をクリックします。
10. Workstation 2 から Firefox ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。
11. Firefox ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。
12. [設定(Configuration)] > [ゾーン(Zones)] > [ゾーン(Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアント ゾーンのいずれかをクリックします。設定の詳細情報に SIP ステータスが [失敗(Failed)] と表示されることを確認します。
13. ピア 1 アドレスは、**vcse.(collabedge- または cb)999.dc-YY.com** である必要があります。YY はデータセンターに依存し、01 は AMER、02 は EMEAR、03 は APJ です。

図 5. ゾーン設定




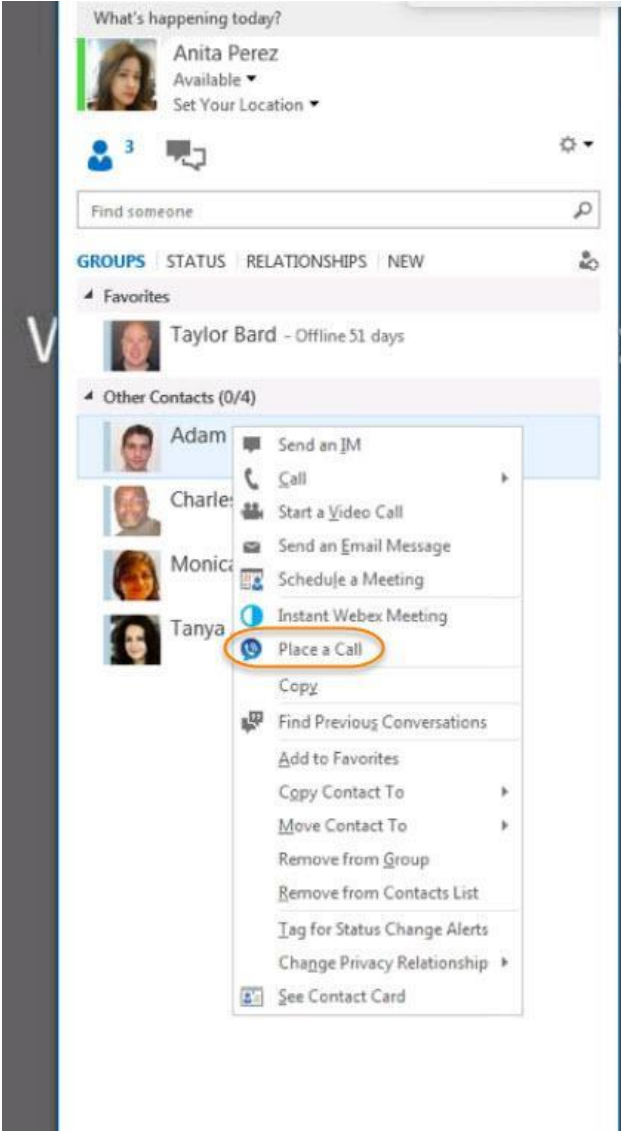
14. これで通常のデモ保存プロセスを続行できます。詳細については、Cisco dCloud の [ヘルプ ページ](#) [英語] を参照してください。

シナリオ : Cisco Unified Communications Integration for Microsoft Lync 2013

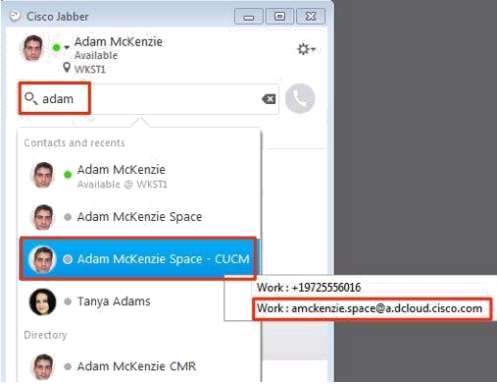
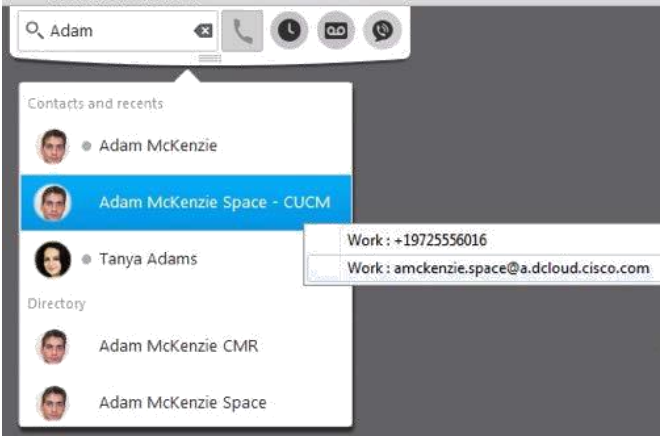
次のシナリオでは、XYZ Corporation が、Microsoft Lync for IM and Presence に加えて音声およびビデオ用の Cisco CUCILync を使用しています。Anita Perez は、まだ Microsoft Lync 2013 を使用しています。Anita は、Cisco Unified Communications の機能を利用するために Cisco Unified Communications Integration for Microsoft Lync クライアントをインストール済みです。このソフトウェア クライアントを使用することで、Cisco UC の高度な機能のすべてにアクセスできます。

デモンストレーションの手順


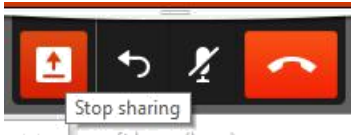
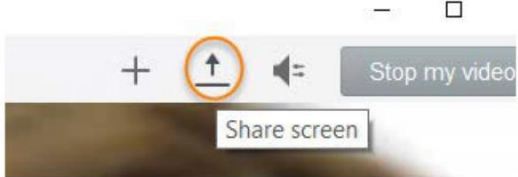
手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは。Anita Perez と申します。XYZ Corporation でプロジェクト マネージャを務めています。私は IM & Presence に Microsoft Lync を利用して、社内外にいる同僚とコミュニケーションしています。</p> <p>XYZ Corporation は、音声およびビデオ サービスとして Cisco Unified Communications ソリューションを利用しています。Cisco Unified Communications Integration for Microsoft Lync クライアント (CUCILync クライアント) を利用することで、私は、Lync や S4B を使用しているユーザと同じように、Cisco UC ユーザとビデオ通話できます。相手が Lync と Cisco UC のどちらを使用しているかを把握する必要はありません。</p> <p>プロジェクト エンジニアの 1 人である Adam McKenzie は XYZ Corporation の別のエリアで働いており、Cisco Jabber for Windows を使っています。私が Cisco UC Integration Lync クライアントを使って Adam とコミュニケーションする方法を説明しましょう。</p>	<p>Workstation 2 で (Anita Perez として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> まだログインしていない場合は、198.18.1.37 の Workstation 2 に、ユーザ名 : dcloud\laperez およびパスワード : dCloud12345! を使用してログインします。 ログインすると、Microsoft Lync 2013, Cisco UC Integration for Microsoft Lync (CUCILync)、および Outlook 2013 クライアントがすべて開き、ログイン状態となっています。 <p>注: Microsoft Lync を使用可能にするには、まず Active Directory と同期させる必要があります。これには、2 ~ 3 分ほどかかります。同期が完了すると、Lync クライアントの右下に表示されていた</p>  アイコンが消えます。
2	<p>こんにちは。私は Adam McKenzie です。</p> <p>Anita Perez は、私が参加している特殊な専門家チームのプロジェクト マネージャです。私は、担当分野で先週実施した作業についての最新情報を Anita に報告しなければなりません。</p> <p>今朝は、進捗状況を確認する電話が彼女からあるはずです。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> まだログインしていない場合は、198.18.1.36 の Workstation 1 に、ユーザ名 : dcloud\lamckenzie およびパスワード : dCloud12345! を使用してログインします。 ログインすると、Cisco Jabber for Windows および Outlook 2013 のクライアントが自動的に開き、ログインした状態になります。これでこれらのクライアントを使うことができます。 Cisco Jabber for Windows クライアントで Anita Perez のプレゼンス ステータスを確認すると、[応答可能 (Available)] になっています。

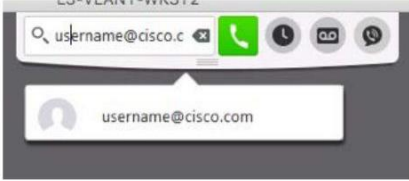
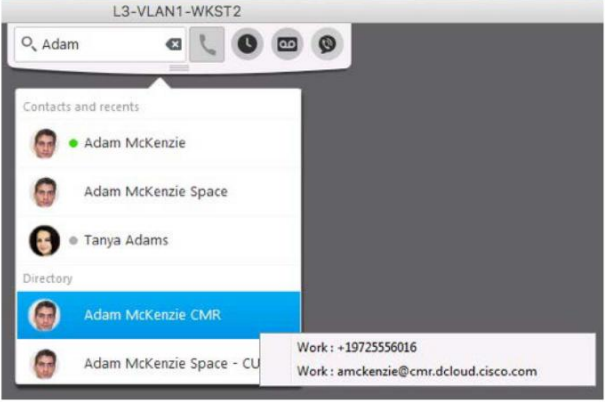

手順	説明の要点	操作
<p>3</p>	<p>Anita Perez として: 今朝、私は Adam からプロジェクトの最新情報について聞くことになっています。ビデオ コールを使って Adam に連絡を取り、本人から直接報告を受けようと思えます。</p> <p>私はまだ Microsoft Lync を使っていますが、Cisco Unified Communications Integration クライアントを利用することで、Cisco Unified Communications の音声およびビデオ サービス機能を利用することができます。Cisco Unified Communications Integration クライアントを使って、Adam へのビデオ コールを開始します。</p>	<p>Workstation 2 で (Anita Perez として):</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Lync 2013 の検索フィールドに「adam」と入力して、Adam の連絡先を表示します。 Adam McKenzie の連絡先情報を右クリックして、[コールの発信 (Place a Call)] を選択します。  <p>The screenshot shows the Microsoft Lync 2013 interface. At the top, it says 'What's happening today?' and shows Anita Perez's status as 'Available'. Below that is a search bar labeled 'Find someone'. There are tabs for 'GROUPS', 'STATUS', 'RELATIONSHIPS', and 'NEW'. Under 'Favorites', Taylor Bard is listed as 'Offline 51 days'. Under 'Other Contacts (0/4)', a list of contacts is shown: Adam, Charles, Monica, and Tanya. A context menu is open over Adam, with options: 'Send an IM', 'Call', 'Start a Video Call', 'Send an Email Message', 'Schedule a Meeting', 'Instant Webex Meeting', 'Place a Call' (highlighted with a red circle), 'Copy', 'Find Previous Conversations', 'Add to Favorites', 'Copy Contact To', 'Move Contact To', 'Remove from Group', 'Remove from Contacts List', 'Tag for Status Change Alerts', 'Change Privacy Relationship', and 'See Contact Card'.</p>

手順	説明の要点	操作
4	<p>Adam McKenzie として: 私はプロジェクトについて Anita と少し話すつもりです。Anita から着信コールがあったので、[応答 (Answer)] をクリックします。</p> <p>Anita に、先週、ABC Corp というお客様とのオンサイト会議で重要な進展があったことを報告します。</p> <p>Anita は画面を私と共有してプロジェクト計画を表示し、適切なフィールドに私のデータを入力します。</p> <p>価値提案: ビデオ コール、ボイスメール、およびデスクトップ共有用の Cisco Jabber のような、Cisco Unified Communications Integration クライアントの機能。ユーザはシスコのエンドポイント デバイスにまだ移行していない場合でも、Cisco Unified Communications 環境のメリットをすべて利用できます。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として):</p> <ul style="list-style-type: none"> Anita から着信があったら、[応答 (Answer)] をクリックします。Cisco UC デバイスまたは Adam 用にプロビジョニングされた物理エンドポイントを利用している場合は、必ず物理エンドポイントでコールに応答してください。 Anita および Adam のクライアントで、それぞれのプレゼンスステータスが [通話中 (On a Call)] および [通話中 (On the Phone)] に更新されます。 <p>Workstation 2 で (Anita Perez として):</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ コールが接続されると Cisco Unified Communications Integration クライアント ウィンドウが開くので、ウィンドウ上の [デスクトップの共有 (Share Desktop)] アイコンをクリックします。  <p>画面共有が機能していることを確認したら、両方のワークステーションで通話を終了します。</p>

手順	説明の要点	操作
5	<p>Cisco UC の機能の中で、私が特に気に入っているのは、自分の Cisco Meetings Space です。アドレスは amckenzie.space@dcloud.cisco.com です。私はこのブリッジを利用して、スケジュールされた会議またはアドホック会議を主催できます。</p> <p>私は再度 Anita と話す必要があるので、このスペースに参加するよう彼女に依頼します。私たちは、自分のエンドポイントから直接このスペースにダイヤルできます。</p>	<p>Workstation 1 で(Adam McKenzie として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco Jabber の検索ウィンドウで、「adam」と入力し、連絡先 [Adam McKenzieのスペース:CUCM(Adam McKenzie Space - CUCM)] をクリックします。緑のボタンをドロップダウンして amckenzie.space@a.dcloud.cisco.com をクリックし、Adam のスペースにダイヤル インします。  <p>The screenshot shows the Cisco Jabber search interface. The search bar contains 'adam'. Below it, a list of contacts is shown under 'Contacts and recents'. The contact 'Adam McKenzie Space - CUCM' is highlighted. A tooltip for this contact shows two work email addresses: '+19725556016' and 'amckenzie.space@a.dcloud.cisco.com'.</p> <p>Workstation 2 で(Anita Perez として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified Communications Integration の検索フィールドで、「adam」と入力します。Adam McKenzie の連絡先がすべて表示されます。 [Adam McKenzieのスペース:CUCM(Adam McKenzie Space - CUCM)] をクリック後、緑のボタンをドロップダウンし、amckenzie.space@a.dcloud.cisco.com をクリックして接続します。  <p>The screenshot shows the Cisco Unified Communications Integration search interface. The search bar contains 'Adam'. Below it, a list of contacts is shown under 'Contacts and recents'. The contact 'Adam McKenzie Space - CUCM' is highlighted. A tooltip for this contact shows two work email addresses: '+19725556016' and 'amckenzie.space@a.dcloud.cisco.com'.</p>

手順	説明の要点	操作
6	<p>Adam McKenzie として: 私たちはどちらも、Cisco Meetings Space にダイヤルインします。これはとても簡単で、[発信(Call)] ボタンをクリックし、自分のスペースのアドレスを選択するだけです。</p>	<p>Workstation 2 で(Anita Perez として):</p> <ul style="list-style-type: none">• コールが Adam のスペースに接続されると、以下のように、Cisco Unified Communications Integration の通話ウィンドウに Adam McKenzie のスペースとして表示されます。 

手順	説明の要点	操作
7	<p>Anita と私は、会議で自分の画面を交互に共有します。Anita が今後数週間の戦略を一通り私に説明するためです。これはとても直感的なインターフェイスで、非常に使いやすいものです。</p>	<p>Workstation 2 で (Anita Perez として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ コールが接続されると Cisco Unified Communications Integration クライアント ウィンドウが開くので、ウィンドウ上の [デスクトップの共有 (Share Desktop)] アイコンをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> 画面の上部にある赤い [共有を中止 (Stop Sharing)] アイコンをクリックします。  <p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> Jabber ウィンドウの上部にある [画面の共有 (Share Screen)] アイコンをクリックします。画面共有が機能していることを確認したら、両方のワークステーションで通話を終了します。 

手順	説明の要点	操作
8	<p>(Anita Perez として)</p> <p>私たちは、Microsoft Lync ユーザと Cisco UC ユーザの両方を対象に Collaboration Edge を設定しています。Collaboration Edge を利用することで、社外のビジネスユーザと、その URI アドレスを使用して、ビデオ通話できます。サードパーティの発信者は、セッションの詳細にある外部ドメイン アドレスを使用することで、Lync 2013 または Cisco Jabber ユーザと直接ビデオ通話することができます。</p> <p>私は何社かの社外のお客様に直接コールする設定をする必要があります。複雑な電話番号を使う代わりに、URI ダイアルを使用して、お客様の内線に直接ダイヤルできます。</p>	<p>Workstation 2 で(Anita Perez として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面の最上部にある Cisco Unified Communications Integration クライアントに自分個人の cisco.com アドレスを入力し、ビデオ ボタンをクリックしてビデオ コールを開始します。  <ul style="list-style-type: none"> 自分の社内用 Cisco Jabber クライアントでコールに応答し、コール側と応答側の両方でメディアが機能していることを確認します。 Workstation 2 で、[デスクトップの共有 (Share Desktop)] アイコンをクリックして Workstation 2 のデスクトップを共有し、コールを終了します。 オプション: シスコ社内ディレクトリ内の他の任意のユーザを検索して、そのユーザの内線にダイヤルすることができます。  <ul style="list-style-type: none"> オプション: 任意の外線電話番号 (PSTN) にダイヤルすることができます。  <p>社内用 Cisco Jabber クライアントから:</p> <ul style="list-style-type: none"> Anita の Cisco Unified Communications Integration クライアントに、cisco.com アドレスから aperez@(collabedge-またはcb)XXX.dc-YY.com としてダイヤルします (セッションの詳細で示されているとおり)。 画面共有が両方のクライアントで双方向に機能していることを確認して、通話を終了します。

手順	説明の要点	操作
9	<p>カスタム B2B ドメイン用のオプションの手順:</p> <p>私たちは、Lync ユーザと Cisco UC ユーザの両方を対象に Collaboration Edge を設定しています。Collaboration Edge を利用することで、その URI アドレスを使用して、社外のビジネス ユーザとビデオ通話できます。サードパーティの発信者は、セッションの詳細にある外部ドメイン アドレスを使用することで、Lync 2013 または Cisco Jabber ユーザと直接ビデオ通話することができます。</p>	<p>オプションの手順:</p> <p>yahoo.com または att.net など、カスタムの B2B ドメイン アドレスを 「はじめに」のステップ 10 で追加した場合にのみ、この手順を実施します。</p> <p>Workstation 2 で (Anita Perez として):</p> <ul style="list-style-type: none"> Anita の Cisco Unified Communications Integration クライアントで、画面最上部に自分のプロビジョニング済み B2B デバイスのアドレスを入力し、ビデオ ボタンをクリックしてビデオ コールを開始します。 このコールに応答し、メディアが両側で機能していることを確認します。[デスクトップの共有 (Share Desktop)] アイコンをクリックして、Workstation 2 のデスクトップを共有します。 コールを終了します。 <p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として):</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco Jabber で、先ほどダイヤルしたものと同じアドレスをダイヤルして、ビデオが両側で機能していることを確認します。 Anita と Adam に外部の B2B ドメイン アドレス (collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com または aperez@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com からダイヤルすることができます (セッションの詳細に示されるとおり)。詳細については、「はじめに」のステップ 7 を参照してください。 画面共有が両方のクライアントで双方向に機能していることを確認します。 コールを終了します。

手順	説明の要点	操作
10	<p>(オプション): クラウドベースの CMR ブリッジを作成することで、外部および内部ユーザが会議に参加できるようにすることも可能です。Anita のガイダンスで 1 件設定したので、お互いにダイヤルインしてこの機能をテストできます。</p>	<p>(オプション): Cisco UC ユーザは、すべてのユーザが参加できる CMR ブリッジを作成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Workstation 2 から Web ブラウザを開き、[コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [クラウドCMRセットアップ (Cloud CMR Setup)] の順にクリックします。 既存の aperez クラウド CMR アカウントを有効化するには、WebEx ユーザ名: aperez とパスワード: dCloud12345! を入力します。 [アカウントの有効化のために送信 (Submit for account activation)] をクリックします。 <div data-bbox="802 722 1513 1331" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>dCloud Collaboration Meeting Room (CMR) Cloud Account Creation</p> <p>Use the form below to create a new CMR Cloud account on the dclouddemo WebEx site.</p> <p>Accounts are deactivated every Friday between 10pm-12am GMT. If your account is deactivated, use the CMR Cloud Account Activation form at the bottom of this page.</p> <p><i>Make sure to capture the login information now in case you forget.</i></p> <p>CMR Cloud New Account Creation</p> <p>ALL fields are required for account creation.</p> <p>Webex UserName: <input type="text"/> *Username should not contain any spaces and must be 3-32 characters long.</p> <p>WebEx Password: <input type="password"/> *Password must contain: 8 characters, mixed case and numbers.</p> <p>Confirm Password: <input type="password"/></p> <p>First Name: <input type="text"/></p> <p>Last Name: <input type="text"/></p> <p>E-mail: <input type="text"/> *Enter valid e-mail address with @ sign and no spaces.</p> <p>Submit for CMR Cloud account creation</p> <hr/> <p>CMR Cloud Account Activation</p> <p>Webex UserName: <input type="text" value="aperez"/> 1</p> <p>Submit for account activation</p> <p>2</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> CMR ブリッジのアクティベーション後のメッセージにホスト PIN が記載されていることに注意してください。 <div data-bbox="802 1423 1513 1541" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>dCloud Collaboration Meeting Room (CMR) Cloud User Activation Status</p> <p>You have successfully activated your dCloud CMR Cloud account with username aperez. Use the following endpoint using aperez@dclouddemo.webex.com. The current host PIN is 4480.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> Workstation 2 で、Cisco Unified Communications Integration クライアントを使用して、そのビデオ エンドポイントのアドレスにコールします。その形式は、username@dclouddemo.webex.com のようになります。これにより、Anita はクラウドベースの CMR を使用して、Adam のエンドポイントに直接接続されます。Anita が参加するにはホスト PIN を入力し、Adam が参加するには # を押します。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先